



Wa

Kato Ecological Party

発行：平成 30年 1月 1日
 発行元：加東エコ隊
 発行責任者：石田れい子
 事務局：
 加東市市民生活部生活課



新年あけましておめでとうございます

平成29年度の活動状況をご報告致します。



加東エコ隊では、地球温暖化防止をはじめとして加東市の環境改善に向け、微力ではありますが、下記の活動を展開しています。

一人でも多くの仲間が参加してくれますことを心からお待ちしています。

■グリーンカーテンの普及（地球温暖化防止）

今年も小・中学校はじめ、各種施設16か所でグリーンカーテンを実施して頂きました。また、一般応募も含めてフォトコンテストを行い、秋のフェスティバルで初めて会場の来場者に審査して頂き、大変盛況でした。その結果、今年も三草小学校が見事に最多得点賞を受けました。（右の写真）

どの施設も市民の皆さんも、夏の暑い日の水遣り等、本当にお疲れ様でした。また、来年度も多くの応募を頂きますよう楽しみにしています。

近松照芳・竹内正子



■生ごみ堆肥化の普及促進

生ごみ減量活動の中で、土のう袋コンポストで作った有機肥料は、花や野菜プランターに施肥しています。用意するのは、土のう袋、土4L程度、米ぬか0.5Lだけ。これらを袋に入れて、後は生ごみを入れて振って混ぜるだけです。土のう袋は、地下から少し浮かせてダンボールの中に保管します。春と秋のフェスティバルで160個の土のう袋コンポストが出ました。

簡単ですから皆さんも一度試してみてください。

芹生 強・井上明則



■春と秋のフェスティバル参加

怪しい空模様の中での“秋フェス”。土のう袋コンポストの配布やグリーンカーテンコンテストを実施。今回は、“市民審査”を来場者に呼びかけて上位決定しました。

驚くほど大勢の市民の皆様審査をして頂き、ありがとうございました。結果、誰もが認める三草小学校の見事なカーテン。陰の努力と愛情に感謝です。

審査していただいた皆様も、協力でのエコ活動です。

石田れい子・井上綾乃



【事務局からの連絡】

平成30年度は、隔年で実施している「第3回環境を考えるかとう市民の集い」の計画を進めていきます。事業者や市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

詳細等決まりましたら、関係者や市民の皆様方へお知らせいたします。

■稲美町環境団体と環境活動交流研修会

「学ぶ・繋がる」を求めて、11月4日、活動実績のある稲美町のいなみ環境会議の皆さんと交流会を開催しました。取組や活動内容を発表し、意見交換をする。住みよい環境を守るためには、出来る事を続けていくこと。そして、幼児期から環境教育を・・・と強く思いました。これからも積極的な交流の輪を広げて、市民環境意識の高揚に努めていきたいと思ひます。

竹内正子



■加西市環境講演会に参加

最近、近隣市町との環境交流も徐々にできるようになってきて、加西市制50周年記念事業の環境講演会に参加してきました。

初めて、あびき湿原野生生物保護地区を知りました。湿度の多いところで、サギソウ、トキソウ等の可憐な花が咲き、タトシボ、チョウが繁殖の為にエサを求めてやって来るところ、多くの生き物の楽園です。自然を壊すことのないようにしていきたいものです。

井上政子



■無農薬有機栽培の促進



地産地消と無農薬有機栽培の促進を目指して、その見本となるような農園にしたいとのもくろみから始めたのであるが、元来、農業とは疎遠な人間ばかりで悪戦苦闘しています。

ただ、安全で手塩にかけて育てた野菜は格別です。

まだ、農園は空いていますのであなたも始めませんか？

井上明則



■エコドライブの推進

地球温暖化などの環境問題がマスコミ等でクローズアップされる中、電気自動車が環境対応車の本命として浮上してきた。

加速はスポーツカー以上で、税金は1,000ccクラス、燃料代も10キロ10円。一度試乗して電気元気！

北原 豊



■子どもエコ隊から一言

子どもエコ隊での活動は、僕にたくさんの学びを与えてくれました。グリーンカーテンやエコの肥料などから、節約にもつながり、そして地球への優しさも未来に関わってくる！

すごい活動をたくさんの人に伝えていきたいです。

小学五年 大西健太

